

大隅の観光地域づくりを戦略的に推進 「おおすみ観光未来会議」発足！



大隅4市5町（鹿屋市、垂水市、曾於市、志布志市、大崎町、東串良町、錦江町、南大隅町、肝付町）の民間事業者と行政で組織された「おおすみ観光未来会議」が今年の5月に発足し、日本版DMO候補法人として登録されました。

DMOとは、「観光地経営」の視点に立ち、多様な関係者と協同しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを目的とする組織のことです。昨年12月から観光庁は、交流人口を拡大させ、地域を活性化するために、日本版DMO候補法人の登録を開始しました。

「おおすみ観光未来会議」では、91団体の会員が、まずは「大隅を知る」ことから始めています。自分たちの住んでいる地域の強み・弱み・課題を把握し、現実をしっかりと見つめ直す作業を丁寧に行っています。

今後は顧客満足度などのマーケティング調査を行うとともに、大隅の観光地域づくりを戦略的に推進するための計画策定を行います。また、地域資源の観光素材を磨き、旅行商品や体験プログラムの開発・販売などを行い、魅力ある大隅を地域外に積極的に情報発信していきます。

- 会員発案のプロジェクトにも積極的に取り組み、観光客が訪れたいくなる仕掛けを行います。
- 地域が一体となり広域観光の取り組みを推進することで、地域の産業振興、地域への誇りや愛着の醸成などを図り、「住んでよし、訪れてよし」の地域づくりを目指します。



大隅半島には手付かずの贅沢な魅力がいっぱい

大隅広域観光コーディネーター・石田一彦さん

大隅地域の観光を「経営」の視点に立ち、観光地域づくりのかじ取り役を担う大隅広域観光コーディネーターとして、今年4月に就任しました。

大隅半島4市5町を駆け回り、見て聞いて味わって感じたことは、歴史、自然、食材などの資源

の豊かさ、それがいまだに手付かずに残っている未開拓の贅沢さです。

それらをいかに観光に結び付け、大隅半島を訪れる人を増やし、地域を活性化させるきっかけにするかが、今後のキーポイントとなると考えています。



■ 問合せ先：大隅広域観光開発推進会議（鹿屋市ふるさとPR課内） ☎ 0994(31)1176